

# 株式会社 ダイワハイテックス

## コミック包装市場の独占企業

コミック包装という新しい市場をゼロから創り出し、包装機械および包装資材で市場シェア90%以上を占め、他社の参入を許さない独占の状態を保つ。

企業概要	住所	東京都板橋区大原町36-18		主要品目	コミックシュリンカー（コミック用包装機）、シュリンク専用袋、防犯システム（ゲート・カメラ・レコーダーなど）	
	TEL	03-3558-8131	FAX	03-3558-8132	高シェア	コミックシュリンカー（市場シェア90%）
	URL	http://www.daiwa-hi.co.jp/			技術	
	創業年	1978年	資本金	1,000万円	拠点	大阪支店（吹田市）
	代表者	代表取締役 大石 孝一	従業員	44人	その他	板橋経営品質賞（1999年度）、板橋製品技術大賞 優秀賞（2006年度）



代表取締役  
大石 孝一

### 常識を打ち破り、コミック包装という新しい市場を創り出す

書店に行くとコミック本が包装され、買い物客はきれいな本を買うことができる。「本を包んだら売れない」という従来の常識を打ち破って、書店業界に「包装＝きれいな本」という新しい価値を提案し、コミック包装という新しい市場をゼロから創り出してきたのが当社である。包装機械（シュリンカー）および包装資材（シュリンク袋）を全国6,000店舗に納めており、

市場シェアはほぼ90%以上、他社の参入を許さない独占の状態を保っている。書店の数は、中小書店を中心に毎年1,000店以上減少しているが、大型店は新規出店攻勢が続いており、特にコミックは安定した人気で売場面積が増加している。今のところ市場は拡大するものと見ている。

### 徹底したアフターサービスによる強固な参入障壁

大手メーカーでも包装機械、資材は作れるが、当社はこの市場で強固な参入障壁を築き上げている。それは徹底したアフターサービスによる書店との信頼関係である。例えば、包装機械については、忘れがちな保証期間を終了1ヶ月前に案内し、無料で機械の修理を行っている。包装資材については、理由の如何を問わず無料交換にも応じている。また、新店オープン時に

は、大量のコミック包装を社員が全国どこでも訪問して無償で手伝っている。コストはかかるが、書店との長いつき合いの中で利益を回収すればよいというスタンスである。こうして作り上げた書店との信頼関係を基盤に、創業以来30年間、増収連続黒字を続けている。他社には決して真似できない当社独自のビジネスモデルである。

### 企業価値を共有した社員一人ひとりの力が強み

こうした事業展開の根っこには、「モノを作って売るのはなく、顧客が繁盛するような価値を提案する。それが結果的に利益につながる。」という社長の経営哲学がある。そしてそれを実現するために、社員一人ひとりが企業価値を共有し、自ら

主体的に顧客サービスに専念する社内的な仕組みをつくり上げている。コミック包装市場の独占企業である当社の強みは、そうした社員の力の結集である。



コミックシュリンカー-NICO 8005



コミックシュリンカー-RAPO 1400